

令和４年度 向日市子ども・子育て会議

○日 時 令和５年３月２３日(木) 午前１０時～正午

○場 所 向日市福祉会館 大会議室

○出席者 (出席委員１３名)

安藤和彦委員(会長)、稲野有亮委員、大川猛委員、海東紗代子委員、高山紀公子委員、
田中久美子委員、辻知也委員、辻里映委員、津田陽委員、船倉哲生委員、堀尾瑞穂委員、
宮地健一委員、渡部雅委員

(５０音順)

(事務局１３人)

【市民サービス部】

山田市民サービス部長、安田福祉事務所長、
長谷川健康推進課長、紺野子ども家庭課長、
松山子育て支援課長、依田障がい者支援課主幹、
楠堂子育て支援係長、山根保育係長、清水子育て支援課主査

【教育部】

清水教育部長、
日下部生涯学習課長、紺野学校教育課長、野津教育総務課主席係長

○欠席者 (委員７人)

池田和子委員、伊藤亮介委員、上田睦美委員、田中美奈子委員
野田昌之委員、花安肇委員、余根田聡委員

(５０音順)

○傍聴者 ０名

○議 題

- (１) 会長の選任
- (２) 令和５年度「第２期向日市子ども・子育て支援事業計画」における
主要事業について
- (３) 保育所入所状況について
- (４) 第２期向日市子ども・子育て支援事業計画の進捗について
- (５) 第３期向日市子ども・子育て支援事業計画の策定について

議題１ 会長の選任	
事務局	会長選出についてどのように進めるかご意見をいただきたい。
委員	事務局に一任します。
事務局	学識経験豊富な安藤委員にお願いしたい。
委員一同	異議なし

＜議題 2＞令和 5 年度「第 2 期向日市子ども・子育て支援事業計画」における主要事業について	
事務局	資料 2 について説明 (資料 2 についての主な質疑・意見)
委員	向日が丘支援学校の改築について、京都府や長岡京市に対して幼稚園や各教育機関が意見できる場を設けてほしい。
事務局	長岡京市の共生型福祉施設については、事業者が去年決定し、今後具体的な話し合いが進められていくと聞いている。乙訓 2 市 1 町の会議の場で、関係機関との協議の場を作るよう要望していく。
委員	通学区域の弾力化制度について、第 4 向陽小学校において希望校制度による受け入れを停止すると聞いたが、第 4 向陽小学校だけか。 留守家庭児童会の予定人数は何人か。 部活動の地域移行について、現在向日市の状況はどうか。 小学校と中学校の給食費の無償化について、検討されているか。 子ども家庭課の新設に伴い、子育て支援課との棲み分けはどのようなのか。
事務局	第 4 向陽小学校への弾力化制度については、令和 5 年度から一時停止している。ただし、兄弟が通っている方等については、第 4 向陽小学校を選択できる。 部活動の地域移行については、国からの通知がきているが、現実的には難しい。今後は地域の方々に対してアンケートを取る予定。 給食費の無償化については、考えてない。食材の値上げ等の影響がある中で、各学校の栄養士がメニューを工夫したりしてカバーしている。 留守家庭児童会の予定人数については、第 6 留守家庭児童会は前年度が 65 人、今年の 4 月 1 日の入所者数が 69 人、令和 6 年からは 100 人前後になる。 子ども家庭課については、本市の子ども家庭総合支援拠点という位置づけで、これまで子育て支援課が所管していた家庭児童相談の部門の機能強化と併せて、市内の妊婦さんから 18 歳の子どもまで、広くすべての子どもの支援や福祉につなげていくということが主な業務である。 特に児童虐待の対応も大きく、子育て支援課、健康推進課、学校教育課、留守家庭児童会としっかり連携しながらすべての子どもの支援にしていこうという意味合いで設置している。
委員	学校教育課の学校運営協議会制度は以前からあるのか。

事務局	令和５年度からスタートを予定している。各学校によってスタート時期は異なるが、令和５年度中にすべての小中学校でスタートする。
委員	私は京都市の中学校の運営協議会に７年在籍しているが、できれば校長先生に権限を持たせてほしい。 私は商工会からきているので、是非職業体験を通じて地元の企業・地元の大人を使っ ていただき、社会全体で子どもたちを見守り、育てていく場として学校運営協議 会の制度を確立していただきたい。
事務局	地域とのつながりが非常に重要であると認識しており、社会全体で子ども達を見守 り、支援していくことが大きな役割の一つと認識している。 職業体験についても、コロナの影響で去年一昨年は行けていないので、令和５年度 から多いに活用していきたい。
＜議題３＞保育所入所状況について	
事務局	資料３について説明
	（資料３についての主な質疑・意見）
委員	０歳児の数が減少してきている。 その一方で、１歳児の入所児童数は減っておらず、子どもの数自体が減ってきて、 ０歳児で預けなくても、１歳児で預ければ保育所等に入れるということがあるので、 こういう数字がでてきていると考えるが、この数字等をどのように分析されたか。
事務局	子どもの人数が全体的に減ってきている。それに伴って、入所数についても減少し ている。 数値の分析については、育休制度がある程度しっかりしてきており、企業に勤めて いる方が育休を取得できるようになったことがひとつの要因と考える。 その上で、１歳児が減っていない、１歳児の入所児童が減っていないというところ は、共働きへの転換が進んでいると考える。 今後の見込みについては、コロナの影響がどの程度か不明であるが、全体としては 少子化の流れが止まらないと考えるので、入所希望数が以前程度に戻ることはあつ ても、徐々に減少していくと予想する。
委員	令和５年度について、３歳児の小規模から保育所への入所はすべて希望の園に入園 されたか。

事務局	小規模を卒業された方にはある一定の加点を設けた上で、調整しているが、3歳児から初めて入園・入所を希望される方もいる中で、それぞれの保育要件の兼ね合い等を勘案して入所決定している。令和5年度については、小規模卒業され3歳児の入所を希望された方の中で、2名ご案内できなかった方がいる。
委員	認可外からの転園を含めて2名か。
事務局	認可外からの転園は含めていない。
委員	待機児童について、国基準では0人とあるが、実際に希望している園に入ることができない等の国基準以外の実数を数値として示してもらいたい。
事務局	国基準以外の待機児童数については、今すぐに令和5年度の数字が出る状況にないため、次回会議で提示する予定。 令和4年度については、4月1日現在で入所をご案内できなかった方は16名ほどで、令和5年度については、多少増える予定。
＜議題4＞第2期向日市子ども・子育て支援事業計画の進捗について	
事務局	資料4について説明 （資料4についての主な質疑・意見）
委員	乳幼児の健康診断の実施について、現在1対1対応での診断であるが、発達支援を必要とする子どもは集団の中にいると落ち着かないという児童もいる。1対1以外の方法も検討してもらいたい。 長岡京市では架け橋プロジェクトのために、専任の教員1人をおいて実施しているが向日市でも実施可能か。
事務局	委員ご承知のとおり、長岡京市の架け橋プロジェクトの専任の教員の方に向日市についてもお願いすることは難しいが、長岡京市の架け橋プロジェクトを参考にしながら、取り組んでいく。 ご指摘いただいた乳幼児の健康診断について、なにが1番いい形なのか検討していく。
委員	私の妻が、出産後の全戸訪問で保健師さんに愚痴などの話を聞いてもらえて、すごく救われたと言っていた。 乳幼児の健康診断のアンケート内容について、お母さんが書くことが前提となって

事務局	いるので、男性も答えられるような内容になればいいと思う。 子育てのために転職をした経験があるが、テレワークの職が少ない・時短勤務では採用してもらえない等の問題点を実感した。向日市と企業が連携し、向日市の子育て枠のようなものを作ってもらえると助かる。 私の周りでも不登校の児童が増えてきている。向日市内では天文館で午前中のみ学習支援できると聞いている。 子どもの居場所という意味では、向日市には自習室がない。 西向日駅の地下道が危険なので改修してほしい。 先ほど給食費の無償化の予定はないとのことだが、向日市は子どもを産み育て安い環境である旨のアピールになるのでは。 不登校については、手元に資料はないが増加傾向にある。天文館での学習支援のひまわり広場では、週3日から週5日に拡大した。 自習室がないという点については、現在は図書館とコミュニティセンターで夏休み期間中に自習室を設けているが、今後は図書館での自習室の充実についても検討していく。 給食費の無償化については、1年間で2億2400万円ほどかかる。一時期コロナの補助金で無償化とした自治体もあるが、こういったことは国レベルで判断してもらうよう働きかけていく。 西向日駅の駅前の危険箇所については、自治会の方やボランティアの方で交通安全指導員の配置をお願いしており、引き続き安全確認につとめる。 市内の危険箇所については、優先順位をつけて改修工事をしていく。
委員	商工会としては地元企業として行政とタイアップし、クーポン等の行政サービスの提供に務めている。 一方で、向日市も決して財政が豊かではなく、無い袖は振れない。 その要因のひとつに市民の年収の低さがある。特に福祉系については、厳しい会社や従業員が多い。 給料をあげるために、国とか市にお願いしながら進めていきたい。 商工会は、事業者の皆さんや従業員の皆さんの給料を上げて、それを向日市に還元し、まちづくりに貢献していく。

委員	こっち側サイドの要望ばかりで提言がないので、提言をまとめて見える化していくことが重要と考える。 国等への要望を向日市にやってほしい。この会議でお願いしていることは、京都市や京都府がやっている事業にのっかってやってほしいということ。
＜議題５＞第３期向日市子ども・子育て支援事業計画の策定について	
事務局	資料５について説明 （資料５についての主な質疑・意見）
委員	アンケートをとるときに向日市らしいアンケートにしてほしい。共働きや登校拒否等の家庭から意見が引き出せるようなアンケートをお願いしたい。 以上